

## ニューフェイス紹介

新しい仲間が加わりました！  
宝塚NPOセンターの活動をより一層充実させてまいります。  
引き続き温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



### 新たに入会された皆さん

#### 【賛助会員】

- ・ 松田 道子
- ・ 足立 和宏
- ・ 浅居 香洋子
- ・ 西 良旺子
- ・ 岡本 さよこ
- ・ 青木 朋代
- ・ 中村 隆治
- ・ 松本 英子
- ・ 特定非営利活動法人  
たからづか子ども食堂

#### 【個人正会員】

- ・ 阿江 多恵
- ・ 西村 拓馬
- ・ 米津 裕佑

#### 【法人正会員】

- ・ 株式会社 Re rise
- ・ 一般社団法人 あんしん生活協議会

フォローしてね！  
SNSで情報発信中！



TAKARAZUKA\_NPO  
Instagram



X (旧Twitter)



FBページ

### 寄付をいただいた皆さん

- |          |          |                  |
|----------|----------|------------------|
| ・ 濱本 佳子  | ・ 新福 泰雅  | ・ 宝塚ワイズメンズクラブ    |
| ・ 脇 忠幸   | ・ 小泉 登志代 | ・ 「ローズクラブ」老人会    |
| ・ 和智 敏雄  | ・ 山口 一史  | ・ 中ゴウ社会保険労務士事務所  |
| ・ 野口 清継  | ・ 三戸 俊徳  | ・ ミッシュ社会保険労務士事務所 |
| ・ 藤田 かおり | ・ 黒木 雅子  | ・ 食を考える会 食文化研究所  |
| ・ 中山 光子  | ・ 金谷 信子  | ・ 一般社団法人 食deつながる |
| ・ 川中 大輔  | ・ 宮本 啓子  |                  |
| ・ 石橋 さなえ | ・ 橘田 てつ子 | ・ 匿名希望 11名       |
| ・ 青木 幸治  | ・ 逢坂 洋子  |                  |
| ・ 西 準二   |          |                  |

(順不同・敬称略)



### 会員継続・寄付のお願い

<http://hnpo.net/support/>  
※認定 NPO 法人への寄付は  
税制面で優遇されます。



### VISION

一人ひとりがいたい姿で  
社会参加のステージに  
立てる未来

### MISSION

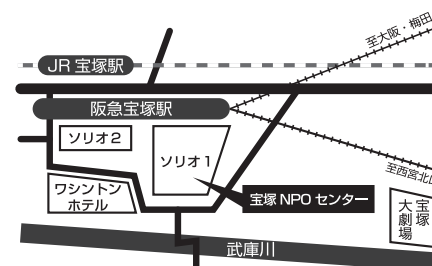
人と社会をつなぎ  
それぞれのHAPPYを  
応援する

### VALUE

一人ひとりのスモールステップに寄り添う  
LIFEとWORKの両面から見えた社会課題に向き合う  
社会参加の新しい形を提案する

### (認定) 宝塚 NPO センター

〒 665-0845  
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1 ソリオ1-3F  
TEL : 0797-85-7766 FAX : 0797-85-7799  
E-mail : [zukanpo@hnpo.net](mailto:zukanpo@hnpo.net) URL : <https://hnpo.net/>  
発行人 中山光子



## TAKARAZUKA NPO CENTER NEWS

市民の手で市民活動を支える

114

このニュースの編集、発送はボランティアの  
皆さんにご協力いただいています

2025.12

共にその先へ...







# 彼女たちと共に 新しい居場所に挑戦!

宝塚NPOセンターでは、HERstory Career Partner Programの助成を受け、社会とつながらなくなった若い女性のための居場所『Daisy Program(デジー・プログラム)』が9月からスタートしました。就職支援の面談をするなかで、若い女性たちの中には不登校の経験や通信制高校への進学などによって、人間関係を築く経験を持たないまま卒業や中退してしまう人が多くいることがわかりました。そこで私たちは、社会にでることに強く不安を感じ、一般的な就労への困難を抱えた彼女たちが安心できる環境のなかで自信をつけ、誰もがありがたい姿で歩めるような支援を考えました。

## 【Daisy Program】

事業名: 小さいけれど確かに咲くデジーのように、一人ひとりが色とりどりの花を咲かせてほしい、そんな願いが込められています。

対 象: 学校から離れた後、社会とのつながりが切れてしまった10代、20代の女性

週1回: 金曜日、13:30~15:30 ハンドメイド活動、お茶会

月1回: 専門カウンセラーによる心理支援ワークショップ

場 所: 宝塚市立男女共同参画センター・エルなど



居場所には常時5~8人の女性が参加。初めは緊張していた参加者たちも、回を重ねるごとに笑顔が増えていきました。また、創作活動を通して「自分にもできる」という自信を持ち始めています。

今後は、居場所で創作したものをバザーやECサイトで販売し、収入を得る仕組みづくりを考えています。働く喜びを体験し、社会へ一歩踏み出す就労の場としての役割も担う居場所としていきます。

この助成は2025年度のためのため、2026年度事業継続に向けての資金調達が課題となっており、さまざまな調達手段を検討しています。地域と企業の皆さんの

ご協力がこの居場所を運営する大きな力です。共に生きづらさを抱える女性たちの未来を支えるため、応援をどうぞよろしくお願いします。

デジーの活動は  
こちらからチェック



(HERstory Career Partner Program)

## 住まい探しの新しい挑戦

宝塚NPOセンターは2025年9月、国土交通省「みんなが安心して住まいを提供できる環境整備モデル事業」に採択されました。公営住宅を用いたサブリース型の「住まい」を確保し、入居後の緩やかな見守りや困りごと、心配ごとへの相談に対応しています。

私たちは2022年2月に居住支援法人格を取得し、「住まい」に困っている方々の支援を始めました。高齢者や障がい者、ひとり親、外国人など一人ひとりの悩みごとは様々です。就労相談支援業務を通じて、「働くこと」と「住まい」の関係が深く関連しており、暮らしの安定が働くことへの意欲を向上させること、また働くことで社会とつながり、暮らしがさらに安定することを学びました。相談者には母子世帯も少なくなく、暮らしが不安定な状況下での子育て課題に着目しました。そして、2022年10月には「住まうことを提供するのではなく、入居者が次の自分を見つける場所を提供する」た

め、『シングルマザーハウスWith』をオープンしました。この母子ハウス事業を通して多くの協力者とつながり、共に活動する拠点としての働きも得ました。3年目となる現在、地域の方々とのつながりをより強く感じています。

人のつながりを大切にしたい活動のさらなる拡がりを願っていたところ、今回のモデル事業につながりました。私たちはこの事業を通して、相談者、そして協力者と共に考え、「ふつうのくらしのしあわせ」が実現するように、それぞれのHAPPYを応援します。



(居住支援事業)

## 地域の方たちが支える「こども食堂」

宝塚NPOセンターが運営しているシングルマザーハウスWithのコミュニティールームでは、地域のボランティア十数人が中心となり、こども食堂『いってらっしゃい食堂』『おかえり食堂』を開催。孤立しがちな親子を地域の方たちが支える取り組みとして注目されています。毎週1回の『いってらっしゃい食堂』では、ボランティアが登校前の小中学生に朝食を提供。朝食をしっかりと食べてから学校へ送り出すことで、正しい生活習慣につなげています。



毎月1回の『おかえり食堂』では、ママたちが中心となって、毎回工夫を凝らした手作りの食事30~50食を提供。地域の子どもが

パパやママと一緒に訪れたり、お年寄りが口コミで集まったり、食事をするだけではない地域住民の交流の場となっており、住民同士がつながりを深めています。また、夏祭りやクリスマス会を開催した際は、高校生や大学生、地域の企業からもボランティアの参加があり、世代を超えた地域の皆さんに支えられていることを実感しました。

この事業は、住友ゴム工業株式会社様の助成金(住友ゴムCSR基金)を活用して運営しているほか、生活協同組合コープこうべ様からの食材や、ドンク宝塚阪急店様からのパンなど地域の企業の皆さんから食品をご提供いただいています。

今後も地域の皆さんと共に「こども食堂」を発展させていきます。

(母子ハウス事業)

## 『合同就職面接会in川西』のおしらせ

川西市や川西市近辺の魅力的な企業15社が出展予定の合同就職面接会を2026年2月に開催します。お仕事を探している方はぜひお越しください。

日 時: 2026年2月19日(木) 13時~16時

場 所: アステホール(川西市栄町25-1)

主 催: 川西市、ハローワーク伊丹

【問い合わせ】若者キャリアサポート川西事務局(070-5652-7299)

【運営団体】認定NPO法人宝塚NPOセンター

※宝塚NPOセンター主催の合同就職説明会が、12月11日に宝塚市立男女共同参画センター・エルで開催されました。伊丹市・宝塚市の企業6社が出展し、多くの方が来場されました。

